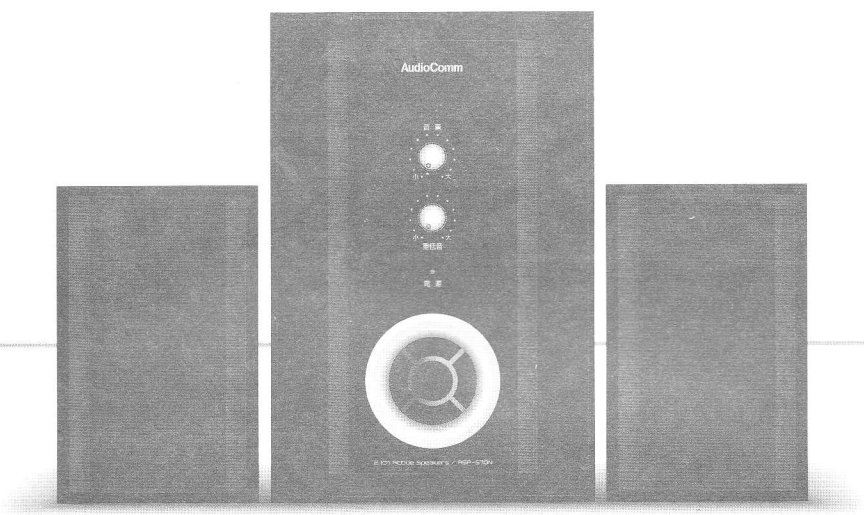
AudioComm®

取扱説明書
保証書付

2.1chアクティブスピーカー
型番：ASP-570N　品番：03-2057



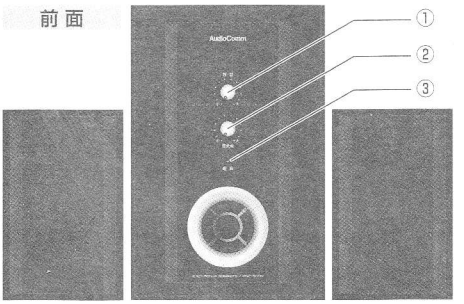
このたびは、AudioComm® 2.1ch アクティブスピーカーを
お買い上げいただき、誠にありがとうございました。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。
本機の性能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、
ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、
ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

各部の名称

アンプ内蔵サブウーファー

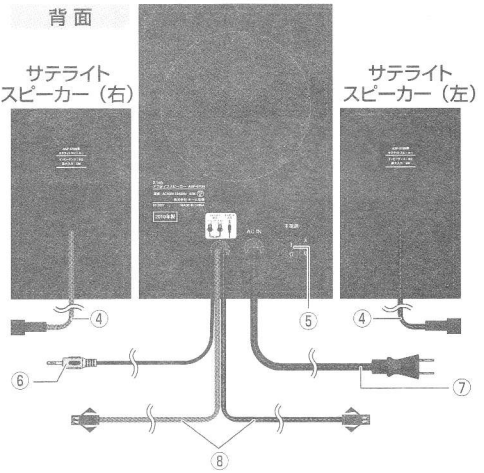
前面



①音量ツマミ
②重低音ツマミ
③電源ランプ
④接続コード
　赤コード：右スピーカー
　黒コード：左スピーカー
⑤電源スイッチ
⑥音声入力プラグ
⑦電源コード
⑧スピーカー接続コード
　赤コード：右スピーカー用
　黒コード：左スピーカー用

アンプ内蔵サブウーファー

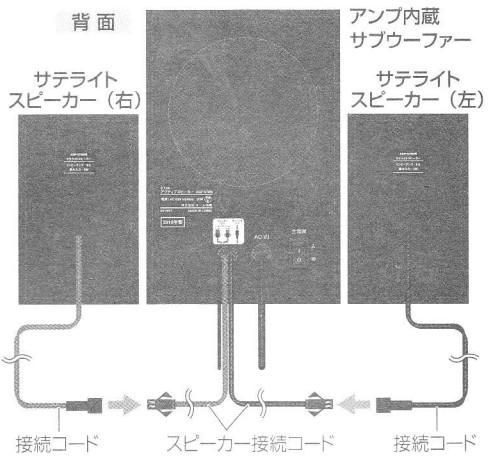
背面

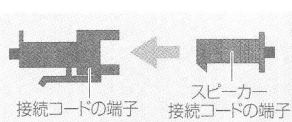


スピーカーの接続について

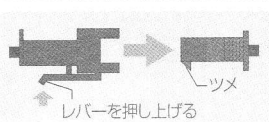
サブウーファー背面から出ているスピーカー接続コードの端子と、サテライトスピーカーから出ている接続コードの端子を正しく接続します。

背面





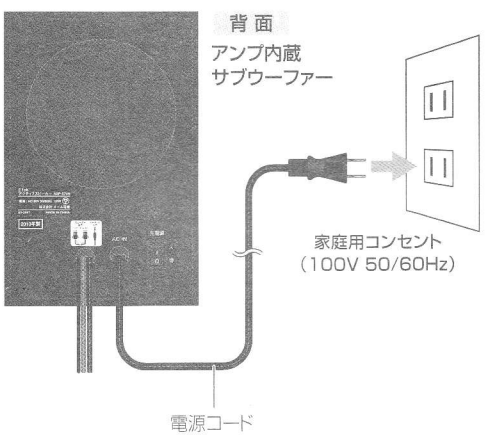
接続する際は端子の向きに注意しながらしっかりと接続してください。



はずす時は、接続コード端子下のレバーを押し上げ、スピーカーコード端子のツメを外して引き出します。

電源について

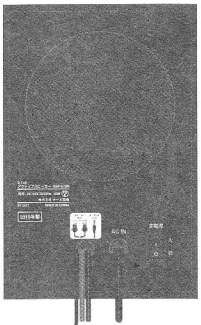
サブウーファー背面の電源スイッチが切れていることを確認の上、電源コードを家庭用コンセントに差し込みます。



外部機器との接続とセッティングについて

本機と接続機器双方の電源が切れていることを確認の上、サブウーファー背面の音声入力プラグ（直径3.5mmステレオミニプラグ）を外部機器のイヤホン端子または音声出力端子に接続します。

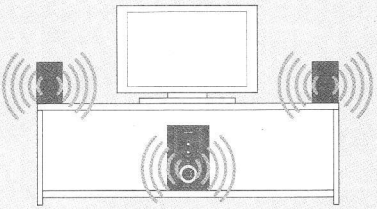
背面



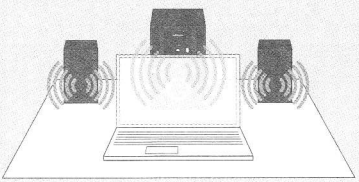
アンプ内蔵サブウーファー

テレビやパソコン、ポータブルMP3プレーヤー、デジタルオーディオプレーヤーなど、外部機器のイヤホン端子または音声出力端子へ接続します

※直径3.5mmステレオミニプラグ対応の端子へ接続してください。



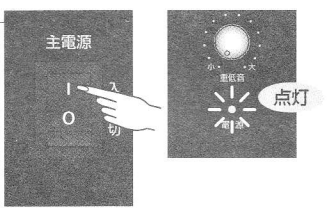
【テレビの場合のセッティング例】
お聴きになる場所の正面にサブウーファーを置き、そこから左右等距離の位置にサテライトスピーカーを設置すると、バランスのよい2.1chサウンドをお楽しみいただけます。



【ノートパソコンの場合のセッティング例】
パソコンの背後にサブウーファーを置き、パソコンの両側等距離にサテライトスピーカーを設置すると、バランスのよい2.1chサウンドをお楽しみいただけます。

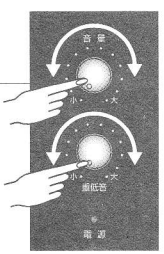
ASP-570Nの基本操作

1 サブウーファー背面の電源スイッチを「入」にします。
電源ランプが点灯します。
※最初から音量を大きくしすぎないでください。



2 外部機器側の電源を入れ、選局、再生等の操作します。
テレビやラジオの音声を出力する場合は、お好きな放送局を選局します。CDプレーヤーやデジタルオーディオプレーヤーの場合は、外部機器側で再生操作をします。
※外部機器の操作方法は各機器に付属の取扱説明書をご確認ください。

3 音量や重低音を調節します。
【ご注意】●周囲の迷惑にならない音量でお楽しみください。
●音量操作はできるだけ本機の音量ダイヤルで行ってください。特に外部機器のイヤホンジャックに接続している場合、接続を解除した時に外部機器側のスピーカー出力が大音量になることがあります。



4 電源を切るときは電源スイッチを「切」にします。
電源が切れると電源ランプも消灯します。
接続を外す時は、双方の電源を切った後に行ってください。

お手入れのしかた

●キャビネットの汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。汚れのひどいときは布をぬるま湯か、薄めた中性洗剤で湿らせ、軽く拭いたあと、から拭きしてください。
●シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、絶対に使用しないでください。
●殺虫剤やヘアスプレーなどがかからないようにしてください。変色や変質の原因となることがあります。

シンナー、ベンジン、アルコールは使用しない

故障かな?と思ったら

症状	チェック項目
電源が入らない	●電源コードが家庭用コンセントに正しく差し込まれていますか。
音が出ない	●外部機器は正しく接続されていますか。 ●外部機器側の電源は入っていますか。 ●本機や外部機器側の音量が最小になっていませんか。 ●サテライトスピーカーとサブウーファーは正しく接続されていますか。

主な仕様

最大出力	総合11W（サブウーファー5W　サテライトスピーカー3W×2）r.m.s			
周波数特性	サブウーファー	50Hz～200Hz	サテライトスピーカー	150Hz～18kHz
スピーカー	サブウーファー	口径102mm　6Ω	サテライトスピーカー	口径64mm　8Ω×2
電源	AC 100V 50／60Hz			
消費電力	11W			
外形寸法	◎アンプ内蔵サブウーファー	幅140mm×高さ210mm×奥行225mm（突起物含まず）		
	◎サテライトスピーカー	幅85mm×高さ135mm×奥行90mm（突起物含まず）		
重量	約1960g			
コード長	電源コード　約1.3m			
	接続コード・スピーカー接続コード　約1.3m			
	音声入力コード　約1m			
付属品	取扱説明書（保証書付）			

※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
※取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証書とアフターサービス

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容および「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって３段階に表示しています。

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

絵表示について

危険 この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。

警告 この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

注意 この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。(左図の場合は感電注意が描かれています。)

○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。(左図の場合は分解禁止が描かれています。)

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。(左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜く、が描かれています。)

⚠ 警告

コンセントから抜く

- ●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに電源スイッチを切り、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。
- ●万一、内部に水などが入った場合は、電源コードをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ●万一、機器の内部に異物が入った場合は、電源コードをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

分解禁止

- ●本体を修理、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

コードを交換する

- ●電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、使用を中止し、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

接触禁止　感電に注意

- ●雷が鳴り始めたら、安全のため電源コードを抜いてください。

水かけ禁止

- ●浴室やシャワー室など、湿度の高いところや水はねのある場所では使用しないでください。火災や感電の危険があります。

禁止

- ●表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- ●本体や電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本体の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気づかず重いものをのせてしまうことがあります。
- ●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。
- ●この機器を使用できるのは日本国内のみです。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しないでください。火災の原因となります。

⚠ 注意

禁止

- ●調理台や浴室、加湿器のそばなど、湯煙や湿気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ●ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- ●電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ●窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。
  キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。
- ●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ●濡れた手で電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- ●電源コードを抜く時は、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグ部分を持って抜いてください。

コンセントから抜く

- ●お手入れの際には安全のため電源コードをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。
- ●移動させる場合は、必ず電源コードをコンセントから抜き、外部機器などのコードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
  コンセントから抜く時は必ずプラグ部分を持って抜いてください。
- ●旅行などで長期間本機をご使用にならない時は、安全のため必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

音量に注意

- ●ご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。
  近隣の迷惑になるとともに、耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

※この製品の故障、誤動作、不具合などによって発生した損害などの附随的損害補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。